

2023年 9月 1日

お客様各位

日本車輛製造株式会社
機電本部 サービス部

ガントリピン誤挿入によるガントリ破損について

謹啓

貴社、益々御清栄の段、お慶び申し上げます。又、毎々格別なお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

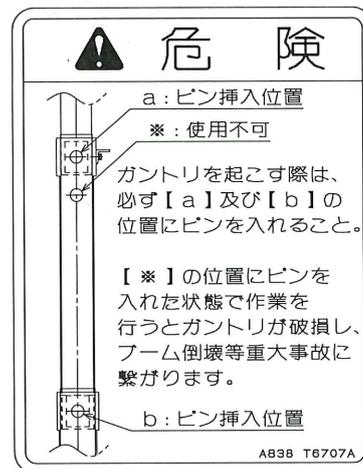
さて、首題の件につき、弊社製ED8200H型アースドリル機において、ガントリを起立させた際に固定するピンの挿入位置を、誤って輸送時固定用のピン穴に挿入したことによって、ガントリが破損しブームが倒壊する事故事例が発生しました。

つきましては、ガントリピンの挿入箇所に関する注意事項を記載した『ガントリの起立手順』について、本書にてあらためてご案内します。

お客様各位におかれましては、この手順書を確認頂いたうえで、安全作業の参考資料としてご活用下さいます様お願い申し上げます。

【添付資料】 ED8200H ガントリ起立手順

また、作業員の方々への再周知を行うためにこれまで当該ガントリのピン部へ貼付していたステッカーの記載内容を修正した右図のものを現在は貼付致しております。



尚、本件を含めまして過去の事故事例や各部の点検方法について、弊社ホームページ内“安全インフォメーション”に掲載しておりますので、事故を未然に防ぐためにも機械管理の一助としてご活用いただければ幸いに存じます。

今後とも末永く、弊社製品をご愛用賜ります様重ねてお願い申し上げます。

敬具

日本車輛 HP 安全インフォメーション

弊社 HP の「建設機械コーナー」にある安全インフォメーションのバナーから確認ができます。

<https://www.n-sharyo.co.jp/business/kiden/safe.html>

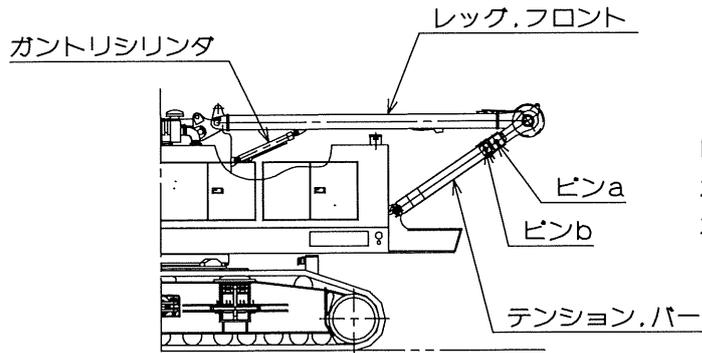
※本ご案内に関してご不明な点が有りましたら、弊社サービスセンターまたは指定サービス工場へご相談ください。

ED8200H ガントリー起立手順

取扱説明書記載手順（手順①）以外に、テンション、バーの内部摩擦抵抗によって
 テンション、バーの伸びる順序が入れ替わった際の組立手順（手順②）を示す。
 注：ピンを挿入する際は、墜落制止用器具等を用いて墜落防止措置を
 講じた上でピン挿入作業を行って下さい。

2023/8/23
 日本車輛製造(株)
 機電本部

C4: 230822A-OKU



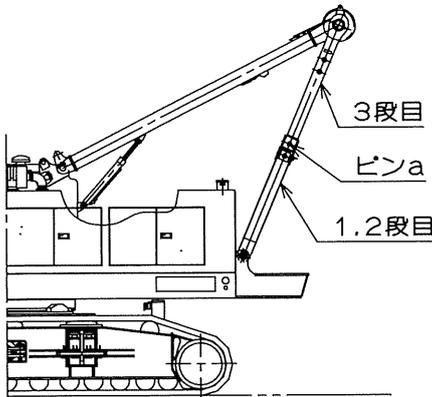
ピンa, ピンbを抜き
 ガントリーシリンダを伸ばし、
 ガントリーを起こしていく。

手順①

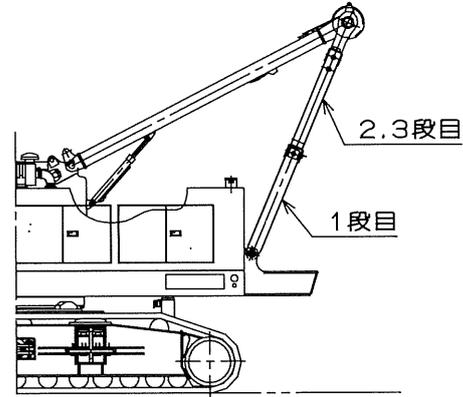
手順②

3段目が先に伸びた場合
 （取扱説明書手順）

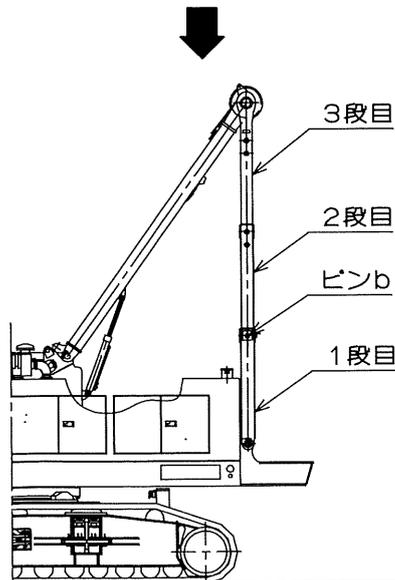
2段目が先に伸びた場合



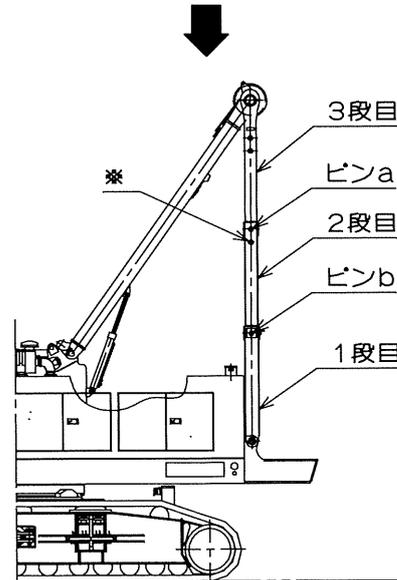
ピンaを挿入し、3段目と2段目をロック
 （取扱説明書手順）



ピンを挿入せず、ガントリーをそのまま起こしていく
 注：テンション、バーの2段目が急に落下する
 可能性があるため、ガントリーが完全に起立するまで
 テンションバーには近づかないで下さい。



ピンbを挿入し、2段目と1段目をロック
 （取扱説明書手順）



ピンa及びピンbを挿入し、3段目～1段目をロック
 注：ピンaを間違えて*印部に挿入しないこと。
 ピンを差し間違えると、ガントリーが破損し、
 ブーム倒壊等重大事故に繋がります。